



岩江中だより

第17号

発行日:平成26年 8月29日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

E-mail:school@iwae-j.fks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【第2学期が始まりました。

～決意の始業式となりますように！～】

37日間の夏休みを経て第2学期が始まりました。第2学期の始業式までに、1年生2名の転出者があり、総勢131名での第2学期のスタートとなりました。

第1学期の成果と課題を振り返り、それをふまえ、始業式の式辞では、以下のような話をいたしました。

《第2学期始業式式辞（抄）》

夏休みの課題を校務センターに持参している姿にもいろいろな姿がありました。「よくがんばったね。」と先生にほめられる人、「ここをやってないよ。」と励まされる人、中には、やっていない宿題を、提出日に、図書室や体育館の片隅で猛ダッシュでやっている人もいました。学校生活を、勉強中心の流れで、もう一度組み立て直してみてください。岩江中学校の特長である、教科教室型という利点を生かし、自ら、授業の準備を整え、教科の教室に移動し、自ら興味・関心をもって授業をはじめ、授業のねらいをしっかりと自覚して、先生の話を中心して聞き、話し合い活動や発表活動に主体的に取り組み、授業のねらいをふまえた授業のまとめを確実にし、復習しやすいノートづくりを心がけ、わからないことはその日のうちに先生に確認し、家に帰ったら、その日の復習と次の日の授業の予習に努めましょう。

部活動へのがんばりもすばらしいものでした。ぎらぎらと刺すような太陽の光、蒸し風呂のような体育館の暑さ、中には、駅伝や合唱の活動も掛け持ちし、いつもの学校生活以上に忙しい時間を過ごしたみなさんもいました。そんな中で、みなさんは力の限り取り組みました。とても偉かったです。心からそのがんばりを賞賛いたします。それは、きっと一生のかけがえのない宝物となります。自らの限界を知ること、それは、世界中の誰よりも自分が好きになる「もと」になります。そして、自分以外の人も今まで以上に尊敬し、大切にできることにもつながります。

もう一つは、「仲間のかげがえのなさ」ということです。家族からの「おはよう。」の一言、宿題を持ってきたときの「よくがんばったね。」という先生の言葉。苦しくて倒れそうになったときの、友達や先生からの「ガンバ。」の一声。みなさんの周りには、そんなすてきな、かけがえのない仲間が必ずいました。仲間がいたからこそがんばれたということもたくさんあったと思います。これからの生活においても、そんなかけがえのない仲間を大切に、よいところを見つけ、共に助け合い、相手を尊重する気持ちを持ち、そのすばらしさを自分も身につけ、仲間と共に成長していけることを期待します。

そのための手助けをするのが、ここにいる先生方です。今まで以上に、先生方に質問したり共に問題を解いたりしてみてください。困ったことがあったら、どんな小さなことでもいいですから、相談し、語り合ってみてください。先生方は、きっと助けてくれます。きっといいアドバイスをくれます。

37日間の夏休みを経て、みなさんの「自立」にむけた活動は次の段階を迎えます。

「真理」「博愛」「健康」「貢献」という4つの視点から自らを見つめ直し、「真理」「博愛」「健康」「貢献」をふまえて行動し、計画的にその行動を振り返りながら、本当の「自立」にますます近づき、2学期の終業式には、全員が、「私には、これがあります。」と言えるよう、131人の生徒全員と先生方とでがんばりましょう。

引き続き、各学年の代表生徒から発表がありました。それぞれの学年の状況に応じて、自分の



今までとこれからの生活をきちんと見つめ、しっかりした方向性をもって、考えが述べられていました。いずれも、目標をもち、その実現のために具体的に取り組むことの大切さについて訴えていて、心強い思いをいたしました。



【第2学期より新メンバーが加わりました。～養護教諭、渡辺千恵です。～】

養護教諭の林先生が第2学期を前に、産前の休暇に入りました。それにかわって、新たに、渡辺千恵先生が養護教諭として赴任いたしました。

前任者同様、保健・健康関係の仕事に取り組みますと共に、保健室を心の憩いの場としても活用するよう、子どもたちにも話しました。保護者のみなさまにおかれましても、心身の健康などについて相談がございましたなら、遠慮せず相談してください。事前にご連絡をいただいた上、来校くだされば幸いです。



【夏休み、がんばりました。～勉強、部活、駅伝、修繕、同窓会、手伝い、ボランティア～】

夏休みには、さまざまな活動が為されました。通常の一部活動をはじめ、特設の駅伝部、合唱部、夏休み明けの大会めざし懸命に練習に取り組みました。校舎は、教室や体育館、玄関のカギの修繕、蛍光灯の付け替え、タンクのふたの交換など、子どもたちが快適に過ごせるようにしました。同窓会の役員会も開かれ、同窓会報の話し合いが行われた他、校外では、ボランティア活動で、児童館やケアセンターに出かけ、お手伝いに励んでいました。家庭科室は、夏休み中解放され、勉強をがんばりたい人が登校し、自主的に意欲をもって学習に取り組んでいたした。

